



# 2024年 新年号 ものづくり通信

第175号

大阪府ものづくり振興協会

大阪市中央区本町橋2番5号マイドームおおさか6階

電話・06-4792-7849



## 2024年 年頭所感

会長 竹内 陽浩



2024年の年頭にあたり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

先ず 元旦に発生しました能登半島地震により亡くなられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災されました多くの皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

昨年を振り返りますと、「新型コロナ」の5類移行により対面や移動の制限が解除、停滞していた社会・経済活動力が再開されました。円安と旺盛な海外旅行需要、日本人気などに支えられて外国人観光客数が復活、インバウンド消費が日本経済に弾みをつけています。

また令和4年春頃より続く円安傾向は、輸入物価を押し上げ、エネルギーや原材料価格が高騰、さらに労働力不足が加わり、中小企業を取り巻く環境は先行き不透明感が依然として残るものの雇用、所得環境の改善、インバウンド需要の回復により、市場は十分に下支えされることにより、2024年度の日本経済は緩やかに回復していくことが期待されます。

2024年は甲辰(きのえたつ)です。

陰陽五行説では「甲」は草木の成長を表し、植物が成長するようにどんどん勢いを増していくという意味があります。

つまり本年度は昨年まで努力をしてきたことが実を結び成就する年になると言われ、新たな始まりやチャンスOfYearとされています。

世界中を巻き込んだ「コロナ禍」は社会・経済活動を停滞させ、「ニューノーマル」と言われる、私たちの日常生活様式まで変化をさせた一方、オンライン化が急速に進み、新たな交流やビジネスモデルをもたらしました。

世界中が「AI」の開発を競い合うなか、「AI」導入が引き起こす「トラブル」等の発生について課題も多く、速やかな「国際規制」が求められますが、進化のスピードを止めることはできません。

2024年「辰年」は新たな挑戦をはじめることが良いとされています。

大阪府ものづくり振興協会では、これまでの延長線上での発想ではなく、AI活用も視野に入れた「来来志向型」の団体組紐づくりを日指していく必要があるのではないのでしょうか。

今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。





## 2024年 年頭所感

### 近畿経済産業局長 信谷 和重



令和6年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年の関西経済は、不安定な国際情勢に伴う国際的な原材料やエネルギー価格の上昇、国内需要の回復による人手不足等があったものの、政府による国内投資を促進する政策展開もあり、企業に積極的な投資姿勢が見られるようになりました。また、新型コロナウイルスの5類感染症への移行やインバウンド需要の回復、関西に本拠地を置くプロ野球球団による59年ぶりの両リーグ優勝に伴う個人消費が増加したことにより、1年を通して緩やかに持ち直してきました。

一方、日本経済に目を向けると、低物価・低賃金・低成長に象徴されるデフレの悪循環から潮目が変わり30年ぶりに新たな経済ステージに移行できる大きなチャンスを迎えています。構造的な賃上げや活発な設備投資により経済が好循環する新しいステージへと移行させていくため、政府は昨年11月に、賃上げの原資となる企業の稼ぐ力を強化する「供給力の強化」、物価高を乗り越える「国民への還元」を車の両輪とする「デフレ完全脱却のための総合経済対策」を策定し、その裏付けとなる令和5年度補正予算を編成しました。

これらの動向を踏まえ、近畿経済産業局では、以下の3つのキーワードのもと、昨年4月に設定した当局の重点分野に基づき、関西から日本の未来を創るというミッションの実現に向けて、職員一丸となって関西経済、ひいては日本経済の活性化に向けた様々な取組を行ってまいります。

1つ目は「新たなリーディング産業の育成・イノベーションの創出」です。

関西を取り巻く環境は、地政学的リスクの拡大、人手不足等の課題、デジタル化による産業構造の転換等、大きく変化しています。これらの変化に対応するためには良質な雇用を生み出し、国際的な競争力を持っている新たなリーディング産業の育成が不可欠です。カーボンニュートラルに関連した蓄電池産業、バイオ関連産業、水素関連産業の高いポテンシャルを活かし、これら産業を更に強化し、活性化させるべく、人材育成支援、異分野からの参入支援等を行ってまいります。

また、関西の持続的発展を実現するためには、新たな価値を生み、次の産業を創るイノベーションの創出が必要です。地域の産学官金連携によるイノベーションエコシステムを構築し、大学、大企業等と「J-Startup KANSAI 企業」に選定された有望スタートアップとの連携による新事業の創出等、関西発の新たな価値を生み出すイノベーションを加速してまいります。

2つ目は、「中堅・中小企業の『稼ぐ力』の強化」です。

我が国では、上述のような国内外での急激な社会経済構造の変化が起こっており、中堅・中小企業においてもこれらの変化を成長する好機と捉え、自己変革に挑戦することが必要です。関西に数多く存在する日本を代表する優れた中堅・中小企業の自己変革を後押しするため、中堅・中小企業の設備投資やDX、カーボンニュートラルへの取組支援や人材の有効活用等を通じた生産性の向上を促すとともに、より積極的な賃上げ支援や価格転嫁対策、資金繰り支援を行ってまいります。

3つ目は「万博の活用と海外需要を取り込んだ企業の成長促進」です。

2025年4月から開催される大阪・関西万博の開幕まで、残り500日を切りました。すでにパビリオンの建設や入場チケットの前売販売 関連イベントが始まっており 開催に向けた機運が盛り上がりつつあります 大阪・関西万博は またとない経済躍進のチャンスです。

このチャンスを活かすため、会場内では日本のものづくり技術やアニメ等のコンテンツの素晴らしさを体験いただいたり、スタートアップ企業の魅力や価値を感じていただく企画の検討を進めるとともに、会場外でも地域の産業、歴史文化、食などの魅力を国内外に広く発信し、関西各地への誘客を促進する取組を地域とともに行ってまいります。

なお、関西では、ものづくり中小企業が地域で一丸となって、来訪者に生産現場を見て体験してもらうオープンファクトリーの動きが盛んになっています。また、企業や産地組合、自治体が一体となって地域資源のブランド化を目指す取組も各地で次々に行われています。こうした各地の取組を繋ぎ、地域一体のプロジェクトとして支援することで相乗効果を図り、関西全体としての魅力を高めてまいります。

以上の3つのキーワードを柱に、関西が日本の発展を牽引し、世界をリードしていくために、当局職員は一丸となって取り組んでまいります。

結びに、経済産業行政への御理解と御協力をお願いするとともに、皆様の御多幸と御健勝を祈念いたしまして、新年の御挨拶といたします。



## 令和6(2024)年 年頭所感

大阪府知事 吉村 洋文



新年を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

昨年春、大阪を今よりも良くしたい、さらに元気にしたい、という思いを胸に、「教育無償化」「2025年大阪・関西万博の成功」「府市一体の成長戦略」を大きな柱に掲げ、知事として2期目の府政の舵取りをスタートしました。再任後、直ちに取り組んだのは、これからの日本の成長を支え明るい未来を創造する担い手となる次世代への投資です。

子どもたちが生まれ育った環境に左右されず、自らの可能性を追求できる社会の実現をめざし、高校や大阪公立大学等の授業料等の完全無償化を、この春からスタートします。大阪のチャレンジングな取組が、全国を先導するモデルとなり、この国の教育のあり方を変えられるものとなるよう、確実に実施していきます。

いよいよ2025年大阪・関西万博の開幕まで1年あまり。現在、会場建設費や海外パビリオンの建設の遅れなど課題はありますが、それを乗り越えて開催する意義や効果が万博にはあります。

万博とは、世界中の英知を結集し、地球規模の様々な課題解決に取り組む場です。気候変動や貧困、食糧問題など、世界が直面する課題は多岐にわたります。また、新型コロナの世界的な拡大によって、従来の価値観や行動に大きな変化をもたらされました。コロナ禍を乗り越えたこの時代に、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに掲げる今回の万博は、「いのち」という原点に立ち戻り、未来への希望を世界に示すものです。150か国を超える国々の先端技術やサービス等により、人々の行動変容と、時代を切り拓く新たなイノベーションを巻き起こす。そして、世界の課題解決につなげるとともに、レガシーとして発展させていきます。

また、日本全体への経済波及効果のみならず、世界の多様な価値観が交流しあい、新たなつながりや創造が促進されることで、経済、社会、文化等のあらゆる面において、さらなる成長、発展の契機となります。特に、次代を担う子どもたちが、会場で披露される「未来社会の実験場」を直接体験することで、未来社会を創る世代が育まれます。

こうした万博の意義や効果、各国の展示内容などを、国や博覧会協会、経済界などとも連携し、府民の皆様をはじめ国内外にしっかり発信することで、より一層の理解促進や機運醸成を図っていきます。

あわせて、産学官民一体で「大阪ヘルスケアパビリオン」において、健康医療をはじめ、カーボンニュートラルやデジタル化といった取組を体現していきます。加えて、空飛ぶクルマや、自動運転EVバスなどの新たなモビリティの実現をめざすとともに、多くの来場者が見込まれることから、地域住民や観光客などの移動手段を確保するため、大阪版ライドシェアの導入に向けて取り組みます。

そして、万博を一過性のものとせず、万博をインパクトに、大阪の成長軌道をさらに高みに引き上げていきます。

大阪の強みを最大限に活かし、ライフサイエンスや次世代エネルギーなど、大阪経済をけん引する産業や、大阪から日本を変えるイノベーションの源泉となるスタートアップの創出に取り組んでいきます。とりわけ、万博のテーマと関連の深いライフサイエンス分野では、春頃に開業する「Nakanoshima Cross」(中之島クロス)を拠点に、再生医療の普及と産業化を強力に推進します。また、カーボンニュートラルに資する最先端技術を万博会場内外で実証・活用し、開発・実用化を促進します。加えて、先端的なデジタル技術を活用したスマートシティ化による住民のQOLの向上に取り組むとともに、世界中から人や投資を呼び込むため、世界最高水準の成長型IRを核にした国際観光拠点の形成や、国際金融都市OSAKAの実現に向けた取組を加速させていきます。

また、府民のくらしや事業活動を下支えし、誰もが安心してくらすことのできる環境づくりを進めます。長引く物価高騰は、現下の大きな課題であり、府民や事業者への影響を軽減するための対策を講じていきます。

今年は、万博の成功に向けた準備の総仕上げの年です。誘致から携わった者として、強い信念と責任をもって全力で取り組むとともに、ポスト万博に向け、大阪を次なるステージに飛躍させるチャレンジを進めます。

そして、平時の日本の成長と非常時の首都機能のバックアップを担う「副首都・大阪」の実現をめざします。あわせて、人口減少・超高齢社会においても、住民に身近な市町村が持続的かつ安定的に住民サービスを提供できるよう、基礎自治機能の充実・強化を図っていきます。

本年も、府民の皆様により一層のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくご挨拶申し上げますとともに、皆様にとって素晴らしい年となりますようお祈りいたします。

### 第3回運営委員会

12月15日（金）産業創造館において開催しました。議題は以下のとおりです。

- (1) 新年交流会について：立食にておこなう
- (2) 企業啓発セミナー&事務局長会議について：詳細は下記
- (3) 総会について：令和6年6月13日（木）予定
- (4) 今後の活動について：工場見学会 ⇒ 感染対策により次年度に繰り越します。

### 企業啓発セミナー&事務局長会議

- ・セミナー「2024年4月改正 労働条件明示ルール変更への対応」

2024年4月から労働条件明示のルールが変わります。スタッフとのトラブルを未然に防ぐために労働条件明示ルールの改正のポイントについて、理解し、備えておきましょう。

- ・開催日：令和6年2月14日（水） 14:00~17:00

- ・場所：マドームおおさか

\*申し込み、チラシについては後日 メール等で連絡いたします。

### 新年交流会 1月23日（火）

- ・日時：令和6年1月23日（火）17時から
- ・場所：NEW OSAKA HATEL
- ・会費 12,000円 是非、ご参加下さい。



協会だより

【移転】

印刷インキ工業会関西支部：〒534-0027 大阪市都島区中野町4-4-2 大阪印刷会館3F

大阪金属リサイクル工業協同組合：〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-18-11 小谷ビル202

### 事務局より

今年もよろしくお祈りいたします。

このたびの「令和6年能登半島地震」により被害にあわれた皆様に謹んでお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復旧を、心よりお祈り申し上げます。

\*新年交流会は、お会い出来ることを楽しみにしております。  
皆様体調にはくれぐれも、ご自愛ください。